



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と  
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と  
ひ  
と  
ツムぐ学生

第49号

2017年8月23日

編集 竹内稔博

(東浦中学校主幹教諭)

## 夏休みわくわく算数・数学教室特集号 No.28

～そうだ、夏は、東浦へ行こう！ 東浦の子どもたちのために、  
そしてSPさん自身の教師力向上のために～

# SPさんの、子どもへの慈しみ

みんな子どもが大好き！笑顔、距離

始まりました。後半の“わく算”。5年間、夏休みにいつも見慣れた「昇降口」の光景がありました。夏休みに、一番暑い時間に、歩いて学校にわざわざ来て「算数を勉強する」。ふつう、そんなこと、考えません。でも、子どもたちは、来るのです。「算数が、勉強したい」と言って。これ、すごい事実ですよ。

子どもたちは、算数を勉強したくて来るのですが、実は、もう一つうれしいことがあるから来るのです。「SPさんに会いたいから」。SPさんとの出会いを楽しみにしているのです。人って「自分に関心を寄せてくれる人」「自分を好きになってくれる人」「自分に笑顔を見せてくれる人」を好きになります。子どもとSPさんとの関係は、これがすべて当てはまります。だから、暑い中でも、喜んで来るのです。個を大事にしたこの事業の真骨頂です。さらに算数ができるようになるのですから、最高です。

SPさんの様子を写真に撮ると分かります。SPさん、みんな、子どもが大好きなんだな、慈しみの気持ちが溢れているな、と。ありがたいことです。SPさんに、「本当に感謝」です。



東浦中学校竹内稔博先生作成の「わくわく算数・数学教室通信第28号」を「ツムぐ学生」用に改編しました。